

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東海)	良くなる	商店街（代表者）	・アベノミクスがずっと効果を発揮しそうな気がする。
		一般小売店〔土産〕 （経営者）	・この傾向は来春まで続くとみられる。
		百貨店（販売促進担当）	・投資の利益確定で顧客の手持ち現金が増え、今後も売上は落ちないと予測する。
		百貨店（販売担当）	・消費税増税前の3月まではこのまま上昇カーブを描いていくことが予測される。夏のボーナスが増加し、その先の冬のボーナスも同様に上昇することが予測できれば、消費者は、その先の先を考えた上で、身の丈に合った「今のうちぜいたく」をする可能性が高い。
		スーパー（経営者）	・20年に1度の式年遷宮で、間違いなく多くの参拝客が見込まれる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・販売量の動きは変わらないが、購買意欲が見られるようになり、少し明るい兆しがかがえる。
		商店街（代表者）	・地上デジタル化以降、販売低迷していたテレビが、そろそろ買換えの時期に差し掛かってきている。
		一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	・お中元商戦に期待する。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・式年遷宮の本番は10月なので、これからさらに参拝者は増える。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	・男性客と女性客で買物の仕方に違いが出ている。女性客は良くなっているが、男性客がいま一つである。そのうち良くなるという期待感はある。消費税の増税がはっきりした時にどうなるのかが心配である。
		一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・政権が変わり、とにかく前に進むよう、動いていくと期待している。
		百貨店（売場主任）	・買物意欲のある客が増え、暇に感じた日でも売上予算を達成できている。ポイントアップやセール等に関係なく買う客が多いため、景気は上向いている。
		百貨店（経理担当）	・夏のボーナスが増額となれば、消費マインドも上昇し、お中元商戦にも好影響を与えると期待をしている。
		百貨店（営業企画担当）	・しばらくは単価が上がる一方で来客数が落ちる状態が続くと考えられる。ただし、富士山の世界遺産登録など、地域特有の好材料があるため、今後の景気には少し期待が持てる。
		百貨店（販売担当）	・輸出メインの製造業が多い地域のため、円安で利益が増加し、夏のボーナス時期には消費意欲の向上を期待できる。
		スーパー（店員）	・値下げする商品の減少及び仕入れた商品のさばきをみる限り、順調と思える。
		スーパー（総務担当）	・値上げが予想される加工食品で、特売品が良く売れている。
		スーパー（営業企画）	・実体は伴っていないが、アベノミクスによる好況感の雰囲気、もうしばらくは景気引上げ効果があると思う。ただし、食品のような生活必需品では大きな変化がなく微増である。消費税率引上げが確定すると、急激に悪くなるのではないかと懸念される。
		スーパー（支店長）	・アベノミクスに本物の景気回復を期待する。
		スーパー（商品開発担当）	・依然として厳しさは変わらず楽観はできないが、自動車関係の労働人口が増えているためか、前年にはなかった好調な場面が少しずつ出てきている。
		コンビニ（企画担当）	・あくまでも、やや良いという空気である。
		コンビニ（エリア担当）	・好調な売上は今後も継続し、前年をクリアできる日も近いと感じる。
		コンビニ（店長）	・暑くなってきて飲料水、アイスクリームが売れるため、業況は良くなる。
		コンビニ（店長）	・ボーナスが出てからの動きを注視している。アベノミクスの効果で多少客の動きが良くなり、買上点数も増える。
		衣料品専門店（販売企画担当）	・少しずつだが、客の購買意欲が高くなってきている。
		乗用車販売店（経営者）	・今後は、ボーナス商戦がスタートする。また来年の消費税アップを視野に入れた行動が、販売・購入側ともに進むものと思われる。
		乗用車販売店（総務担当）	・アベノミクスの効果が、一般消費者にも広がっていくと思う。
乗用車販売店（販売担当）	・注文の登録残もあり、好調である。ディーゼル車が好調であるため良くなる傾向にある。		
住関連専門店（営業担当）	・新築住宅、マンションの販売が増えており、内装工事も増えている。リフォーム工事、大規模改修工事も、消費税増税前に実施する動きが出ている。公共工事、商業施設にもそのような動きがある。		

	その他小売 [ ショッピングセンター ] ( 営業担当 )	・前年と比べ購買行動では円安の影響を受ける。夏休みの海外旅行等は、減少するのではないかと思う。
	一般レストラン ( 従業員 )	・景気が悪いとはいえ、当店は冬場より夏場の方が忙しく、来客数も増加する。
	観光型ホテル ( 経営者 )	・7～8月は前年同月の宿泊予約数を上回っているため、やや良くなる。レジャー産業は風水害、地震等に敏感であるため、災害が発生しないことを祈る。
	都市型ホテル ( 営業担当 )	・秋に向けて企業の設備投資も増えて、出張の増加や法人宴会のパーティーも増加傾向になっていく。
	旅行代理店 ( 経営者 )	・アベノミクスの効果が、そろそろ出てくるのではないかとと思われる。
	旅行代理店 ( 経営者 )	・参議院選挙もあり、選挙後は社会も安定し、景気は少し良くなる。
	旅行代理店 ( 経営者 )	・円安、円高と動きが読めない様子ではあるが、夏休みにかけての予約の動きから、景気回復の兆候がみられる。
	タクシー運転手	・今年はボーナスが好調な会社もある。また、暑くなるとタクシーを利用する客が多くなるため、この先は良くなる。
	タクシー運転手	・これまでがひどすぎたため、この先はこのようなことはもうない。
	タクシー運転手	・例年ゴールデンウィーク明けには売上が極端に減少するが、今年はさほどの落ち込みもみられない。夜の繁華街の出入が多くなり、少しずつでも景気が上向いている。
	通信会社 ( 企画担当 )	・株価の戻りはあったものの、まだ回復基調にあるように感じる。
	通信会社 ( サービス担当 )	・新しくスタートしたWeb割 ( 長期割引 ) 申込と光回線の提供開始となる新開局ビルにより、新規申込が増えていく。長期割引に伴い制約期間が付くので、顧客が定着すれば今よりも景気が良くなる。
	美容室 ( 経営者 )	・これから夏のボーナス等で、客の財布のひもが少し緩むと期待している。
	住宅販売会社 ( 従業員 )	・景気回復とはいえないが、消費税増税による一時的な駆け込み受注が見込まれる。
	その他住宅 [ 不動産賃貸及び売買 ] ( 経営者 )	・今の反響や契約の勢いを継続させる期待感がある。
変わらない	商店街 ( 代表者 )	・これ以上悪くはならないと思うが、良くなる要素も少ないので平行線で推移する。
	商店街 ( 代表者 )	・客は進物用の商品は買うが、自分のための商品購入が伸びてこない限り、良くなっているという判断はできない。
	商店街 ( 代表者 )	・個人消費者の客単価が上がらないのは仕方ないが、法人需要がもう少し力強くなると、横ばいをキープするのがやっとという感じである。
	商店街 ( 代表者 )	・良くなるか悪くなるかは、今後の株価次第である。
	一般小売店 [ 結納品 ] ( 経営者 )	・地方都市の個人消費はまだまだ上向いていないため、しばらくはこの状態が続く。
	一般小売店 [ 酒類 ] ( 経営者 )	・飲食店への来客数は増えているが、単価は上がっていない。財布のひもは、まだまだ固い。
	一般小売店 [ 生花 ] ( 経営者 )	・急激に良くなるものでもない。少しずつでも良くなることを祈るばかりである。
	一般小売店 [ 薬局 ] ( 経営者 )	・同業の経営者の中では、院外処方箋はまあまあだが一般の小売りはさっぱりとの声が多い。安い生活必需品の動きは良いが、高額品の動きはまだ悪い。ドリンクの動きは最近が良いようで、これから夏場に向かって多少期待感を持っている。
	一般小売店 [ 自然食品 ] ( 経営者 )	・客との会話から、収入が増えないことには支出も増えないという雰囲気がよくわかる。
	一般小売店 [ 時計 ] ( 経営者 )	・景気が良くなっているという話を周りでは聞かない。
	一般小売店 [ 贈答品 ] ( 経営者 )	・贈答品の売行きは変わらない。財布のひもの固さは同じように続く。自分に対するご褒美は増えるが、他人へのプレゼント、お返しは控える傾向になる。
	一般小売店 [ 果物 ] ( 店員 )	・3か月ほどでは変わらない。
	百貨店 ( 売場主任 )	・先月までの生活を見つめ直して、また財布のひもを締め始めたように思う。
	百貨店 ( 企画担当 )	・全アイテムの売上が好調というわけではない。時計宝飾品やインポートバッグなどの高額品は、数か月来好調を維持しているが、衣料品や雑貨類の売上は前年同月を継続的に超えてはならず、気温に影響されている傾向が強い。
	百貨店 ( 販売担当 )	・前年に比べて長雨ではないので、来月に期待している。

百貨店（営業企画担当）	・ 急激な株安など直近では不安材料があり、消費マインドの冷え込みを懸念するが、現状のトレンドは維持可能と予測する。
スーパー（経営者）	・ 8月ごろの景気は円安の効果が続き、輸出は伸びてくる。食料品、日用雑貨、衣料等は円安で輸入商品が徐々に高くなる。輸出企業の収益は増えるが、家庭の支出は増えて、家計を預かる主婦は大変である。各種の税金、社会保険料は徐々に上がってきているため、全体的には変わらない状態である。
スーパー（店長）	・ 円安が商品の原価アップに繋がり、商品価格に転嫁できないため厳しくなる。消費者の買い控え等も考えられ、不安要素が非常に多い。
スーパー（店長）	・ 製造業等の景気は向上しているものの、食料品等は節約癖が続いており、まだまだ食料品関係には好景気が回ってこない。
スーパー（店長）	・ 給与が現実には増えておらず、可処分所得の増加には至っていない。
スーパー（販売促進担当）	・ 競合大型店を調査しても、客の購入動向が良くなっていない。来客数を多く集めているとは思えず、エリアを広げて販促を仕掛けている状態のようである。
コンビニ（店長）	・ 顧客の高齢化により、個人向け販売量が減っている。ただし、景気回復感があるので、法人利用に期待している。トータルでは横ばいでないか。
コンビニ（エリア担当）	・ 夏季は、気温や天気が大きく左右されそうな状況である。
コンビニ（商品開発担当）	・ 景気が回復しているとされるが、今のところ客単価の動きからは感じられない。景気が上向くのはもう少し先になる。
衣料品専門店（経営者）	・ パーゲンに対しても、予算を決めて必要な物しか買わない傾向になっている。
家電量販店（店員）	・ 販売数は減っているが予算は上がっている。トータルとしては変わらない結果となりそうである。
家電量販店（店員）	・ 消費税が上がる来年3月には、駆け込みによる販売額が増えると思うが、この先の景気として、3か月先に良くなるようには思えない。
家電量販店（店員）	・ 単価は横ばいである。円安になるため輸出は伸びるが、混沌としているため、分からない。
乗用車販売店（経営者）	・ 特に良くなる見込みがない。
乗用車販売店（経営者）	・ 一部の業界や企業では好転するが、その他の多くの企業への影響は考えにくい。
乗用車販売店（従業員）	・ 足元では悪くなく、想定よりは良いという感覚である。良くなり続けるかどうか、判断する材料が乏しい。
乗用車販売店（従業員）	・ 人気車種の品薄状態は続いている。客からの引き合いは多いが要求はきつく、市場環境はまだまだ厳しい状態が続いている。客から懐具合が暖まってきたという言葉はなく、まだ、景気が上向きそうだという気持ちも、先行しているようにみられる。
乗用車販売店（従業員）	・ 来月より新型車や特別仕様車が續々登場してくるが、現時点での客の反応はいま一つで、正直、期待しかなる状況である。世間はアベノミクスでにぎわっているが、実際のところ大多数の客では、車のような高額商品への支出は、必要がないと慎重であることがうかがえる。
乗用車販売店（経理担当）	・ 景況感、良くも悪くもないといったところである。物価の上昇に給料の上昇がついていけば良いが、期待薄である。
その他専門店 [ 雑貨 ] (店員)	・ 現在の状況が継続したとして、アベノミクスの効果が出るのは年末くらいとみる。
その他専門店 [ 雑貨 ] (店員)	・ 現状を打破する企画がない。
その他小売 [ ショッピングセンター ] (経理担当)	・ 売上高は、前年同月比0.1%増加、来客数は、1.8%の減少で、総合的にみると景気は変わらずである。
スナック (経営者)	・ 客の財布のひもが固く、期待できない。
観光型ホテル (販売担当)	・ 世の中がいくらテンポ良く変化しても、当業界は何か月も遅れて現れてくる。夏の企画の造成を急ぎ、従前より早めに販売を始め、少しでも良い感触をつかめることに努力したい。
都市型ホテル (従業員)	・ 予約数から、先行きも横ばいと判断している。
都市型ホテル (経営者)	・ まだまだ景気が良くなっているという実感は持てない。
都市型ホテル (支配人)	・ 5月は勢いがあつたが、予約が直前に入ることに変わりない。

都市型ホテル（経理担当）	・宿泊者数の状況や単価の低下による。
旅行代理店（経営者）	・小規模グループ客は比較的堅調に受注している。ボーナスが実際に出ないと動きづらいのか、夏の個人客の受注には不安定要素がある。良くなりそうな気配はあるが、確実性がない。
旅行代理店（経営者）	・国の様々な政策の効果は、末端まで届いているようには思えない。人材育成、シャッター商店街振興、成長戦略は、10年前から言われている気がする。待機児童数ゼロを実現した横浜市のように、従来型でなく旧来の考えに囚われない政策の実行と検証を行うべきである。今後の少子・高齢化を乗り切るのは、スピード感のある大胆な行動である。先送りする程、問題が山積みとなり構造改革ができなくなっていくが、既に20年同じままである。景気の先行きは変わらないとしか言いようがない。
旅行代理店（従業員）	・旅行業にとっては、アベノミクスの効果を受けるにはまだ時間がかかる。円安で海外旅行の受注は減るため、良くなるのはまだ先である。
タクシー運転手	・良くなったと言う人よりも、良くないと言う人の方が多いため、まだ景気は変わらない。
テーマパーク（職員）	・期待としては良くなるとしたいものの、現状から、サービス業としては景気が良くなるのはもう少し先になると思う。
ゴルフ場（企画担当）	・引き続き7～8月も入場者の予約が前年を上回っている。これから天候に大きく左右される時期となるが、ある程度このまま好調に推移すると考える。
理美容室（経営者）	・客との会話では、景気が良いという実感はないが、良くなる気がするとの声を聞く。
美顔美容室（経営者）	・7月末までキャンペーンがあるため、このままのペースでいく。
美容室（経営者）	・3月の売上が良かったため、6、7月にパーマの客がまた来る頃であり、良くなって欲しい。
美容室（経営者）	・業種によって良い悪いが出ている。当業種はあまり変わらない。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・仕入先との原価交渉に、時間を費やすことになりそうである。
設計事務所（職員）	・これから景気が上向き方向感はあるが、民間はまだまだ冷え切っており、平行状態が続く。
住宅販売会社（従業員）	・土地の売買実績が伸びてきているようだが、住宅の新築の動きは、いまだに鈍いままである。ただ借入金利の上昇が広く知れ渡ると、動きが出ようかと思う。
その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・元請けの受注状況を見ると、今後売上は増加しそうだが効果が出てくるのはしばらく先のことである。一般ユーザーからの引き合いは、先月と同程度の件数である。
やや悪くなる	
一般小売店〔食品〕（経営者）	・客からは、中小企業ではなかなか収入が増加しないと聞く。電気、ガソリン、輸入原材料の値上がりが続くが、商品価格に転嫁できない。早く次の景気回復策を打ってもらわないと、景気は悪い方向に進む。
百貨店（経理担当）	・これまで景気は一本調子で上向きのトレンドにあったが、このところ株価に乱高下が生じるなど、変調が出始めている。これに伴って、消費者心理も、いったんは後退する局面になるのではないか。
スーパー（店員）	・半年以内にまた競合店ができるため、客が分散される。
コンビニ（エリア担当）	・株価は上がってきているが、賃金の上昇や、工場の稼働状況が良くなることはなく、来客数にも反映されていない。競争店ができて厳しくなっており、しばらくはこうした状況が続く。
コンビニ（エリア担当）	・競争店の出店により、既存店の売上はますます厳しくなっていく。
コンビニ（店長）	・アベノミクスの効果は全く実感できていない。
乗用車販売店（従業員）	・自治体首長の発言問題や、政府が不安定になってきているため、景気が悪くなる。
乗用車販売店（従業員）	・動き自体は悪くなく、販売にも繋がっていく気がしている。自動車業界、中古車業界をみていると、やや良くなっていく実感はある。
その他専門店〔貴金属〕（店長）	・まだ実感としては変わらないが、少しずつでも給料が上がれば消費も伸びてくる。しかし、長期景気低迷のため、一気に好転とはいかない。
一般レストラン（経営者）	・客として富裕層は少ない。今の政権になってから厳しい思いをしている人は少なくない。したがって、外食や外での飲酒は少なくなる。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・急激に上昇している反動が現れる頃である。

		通信会社（営業担当）	・ 株価上昇、円安に伴う物価の上昇、近く行われる参議院選挙や諸外国への援助等が話題となっているが、国民の1人として景気回復を感じることはない。景気の回復として期待できることは何であろうか。
		通信会社（営業担当）	・ 他社の新しいサービスが登場するとの情報により、販売量の低迷が続くとみる。
		テーマパーク（職員）	・ 地方へのアベノミクスの効果は、まだまだ少ない。
		設計事務所（経営者）	・ 案件数が増加する気配が全くなく、むしろ単価が下がっている。良くなる要素が全くない。
		住宅販売会社（経営者）	・ 建物の請負契約は、10月の契約から消費税が上がるため、それ以降の契約件数が減る。
	悪くなる	スーパー（経営者）	・ ここ数か月の小売店の売上の悪さからは、この先も良くなる要素がなく、さらに悪化していく。
		スーパー（店長）	・ 周りの競争店舗の状況は変化がない見込みであるが、それに加え、円安により油、小麦粉、ツナ缶、パンなどの値上げが計画されている。客の財布のひもが固くなり、支出にも影響する。
		乗用車販売店（従業員）	・ 新車の発売予定も全くなく、この2か月の販売状況を考慮すると、かなり厳しい状況が見込まれる。
		パチンコ店（経営者）	・ 業界が低単価販売へ動き、客も追随しているので、薄利多売傾向では集客容量の大きな店舗が有利となる。
		理容室（経営者）	・ まだまだ景気が良くなるとは思えない。
企業 動向 関連  (東海)	良くなる	企業広告制作業（経営者）	・ 好景気感はあるが、対外情勢や為替変動の影響で容易にしばむことも考えられる。しかし景気はムードが重要であり、現政権がよほどの失敗を犯さない限り、回復傾向は続く。
	やや良くなる	食料品製造業（経営企画担当）	・ 夏季ボーナスが前年を上回る予想の企業も多く、消費意欲の活発化が期待できる。お中元商戦の盛り上がり期待する。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ 8月は飲食店の閑散時期に入るため、広告出稿が控えられる。7月までに営業実績を上げて精一杯カバーしたい。
		化学工業（総務秘書）	・ アベノミクスで消費マインドは楽観的になっている印象がある。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・ 3か月後までには、最量販品の問題点を解決して、以前の受注量に回復している見込みである。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・ 新製品の受注予測も計画に対して上振れしており、年末に向けて売上の伸びが期待できる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・ 弊社のオリジナル製品の販売が期待できるため、3か月先は今より良くなる。
		建設業（経営者）	・ 今後しばらくはこの状況が続くと思われる。しかし、消費税増税前の駆け込み需要は、思ったほどはない。
		輸送業（従業員）	・ 依然として燃料費が高止まりで厳しい。特にトラック長距離輸送では荷主への運賃転嫁が難しく、対応に苦慮する業者がある。一方で、景気の好転感とともにドライバーの確保が難しくなっている。高速道路の割引見直しの動きもあって、実施されると燃料と通行料のダブルパンチが、物流業界には大きな痛手となることを懸念している。
		輸送業（エリア担当）	・ 輸出が伸びると予想する。
		輸送業（エリア担当）	・ 全体的に目に見えてはつきり良くなって来た感じは受けないが、自動車メーカー関連の荷動きが活発になってきている。
		輸送業（エリア担当）	・ 荷物の動きは良く、人員不足のため時給単価を上げて募集をしている。しかし、既存社員の給料が上がるまでには、まだ時間がかかると思われる。
		金融業（従業員）	・ 現在も多少は良くなっている。将来の見込みも良い方に傾いているという声が多い。
		金融業（法人営業担当）	・ 取引先の自動車部品メーカーの受注が増加している。
		不動産業（開発担当）	・ 消費税増税前の駆け込み期待している。
		広告代理店（制作担当）	・ 地元での大型商業施設の開設に伴い、それなりに活気が始まってきている。それが広告に繋がる期待感が持てる。
		経営コンサルタント	・ 海外を中心に不動産購入の流れが続いている。リートの取得も活発となっている。不動産の需給の流れはこれから広がってくる。株高もあり、景気は良くなっていく。
		会計事務所（社会保険労務士）	・ 顧問先では、受注量が増加してきているところが多く、資金繰りに少し余裕が出てきている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・ 7月以降、システム開発の案件が複数立ち上がる見込みである。
		その他サービス業〔広告印刷〕（従業員）	・ 動きは出てきたように思うので、後はそれが現実の受注に結び付くことに期待をしている。
変わらない	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	・ 販売量が減少する予定との報告が多く、新規増加の報告がない状態である。良くなると裏づけるデータ及び報告に欠けている。	

パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・アベノミクスでムードはいいが、受注量、販売量に反映されるには、まだまだ時間がかかる。
化学工業（人事担当）	・経済の実態には景気の良さがあまりみられず、円安による物価高が懸念され、しばらく足踏みするのではないかと思う。
金属製品製造業（経営者）	・引き合いは、変わらない状況で推移している。
一般機械器具製造業（営業担当）	・受注量は増えているが、今まで円高でストップしていた案件や買得な在庫処分の案件等であって、新たな需要が増加しているようには見えない。特に中国では、人件費の高騰から携帯電話、PC関連ユーザーでも設備投資予算の増額を控えているという情報が入っているため、継続して受注量が増えるとは思えない。
一般機械器具製造業（経理担当）	・一定水準まで景気は回復しているが、更なる上昇に至るまでには、今一步である。
電気機械器具製造業	・放送、通信業界では、競争に打ち勝つための設備投資が必要であるが、資本力の弱いところは、消費者マインドの冷え込みから実施に踏み出せないところがあり、業界内全体をみるとバラつきがある。当分の間、この傾向が続くそうである。
電気機械器具製造業（営業担当）	・現在の状態が続くかどうか、先行きは不透明である。
電気機械器具製造業（経営者）	・円安による素材の値上がりが見込まれるため、販売量が極端に増えることはない。今後2～3か月で悪くなるか良くなるかの判断は難しい。
輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・生産計画はしばらく上向き傾向が続くが、勢いよく上がるわけではない。
輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・円安で輸出が伸びても今の水準は続く。トラック等の物流業者は、ガソリンの値上げもあって苦しいと聞いており、良いところと相半ばで今のままの推移となる。
建設業（営業担当）	・消費税が上がるか上がらないという状況の中で、家を建築する際の浄化槽の設置と下水道整備の時期が合わないところがある。2～3か月ではわからないため、それほど変わることはない。
輸送業（経営者）	・景気に対する荷主の見方は必ずしも楽観的ではなく、輸入も必要量だけに絞り込んでいる。また、強気の発注もみられない。
通信会社（法人営業担当）	・円安、株価上昇の波及効果が見えてこない。総理の強いリーダーシップはよく理解でき期待感は大いだが、長年の経済停滞や過去の政治スタイルのため庶民は疲弊している。企業マインドも冷えたままである。
金融業（企画担当）	・現状はマインドの変化の及ぼす影響が大きく、企業業績の回復とともに実態面がついてくるかどうかのポイントである。もうしばらく様子を見ないと、現時点ではわからない。
不動産業（経営者）	・現状維持の状態が今しばらくは続く。
不動産業（管理担当）	・オフィス需要はどこの事務所も慎重な構えを崩していない。良くなる兆しが見えない。
新聞販売店〔広告〕（店主）	・お中元商戦のチラシに期待したいが、告知方法がネットへ変わりつつあり、新聞業界では厳しさを感じる。
行政書士	・一部の業者からは、上向きなのは大手と株価であり、零細業者は燃料価格が上がり、周囲でも景気は良くなっていないとの声を聞く。
公認会計士	・中小企業の今後の業績は、直接・間接的に影響する輸入品の価格高騰に対して、どの程度、価格転嫁や売上数量の増加が図れるかによって影響を受ける。
会計事務所（職員）	・消費関連が勢いづくには、賃金上昇が伴わないと続かないが、中小企業レベルでは昇給には至っていない。インフレによる物価高が先行する。
その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・この2か月位でいろいろな批判も出てくる。私見としては、対ドル円95円、ユーロ120円程度が理想である。相場は行き過ぎが起るため、判断が難しい。設備投資は少しは良い状態である。
やや悪くなる	
印刷業（営業担当）	・景気は良くなりつつあるとメディアで言われているが、それは一部の大企業のみである。中小企業ではその気配がない。全体をみて、景気の上昇、下降を発表しなければいけない。
鉄鋼業（経営者）	・原料や燃料の値上げが先行しているが、大手企業への製品納入単価は引き上げどころか再見積の名目で下げられている。かえって赤字幅を広げるばかりの中小企業が多い。
金属製品製造業（従業員）	・同業者間でも当面の仕事量は少なくなると言われている。

		輸送業（エリア担当）	・日本の企業は、売上が増えないなかで、人件費の抑制等いかに支出を減らすかに頭を痛めている。しかし、人件費を抑制しては賃金は上がらないため、景気は伸びない。
	悪くなる	窯業・土石製品製造業（経理担当）	・新設住宅着工戸数の減少による。
雇用 関連  (東海)	良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・周辺の企業でもアベノミクスによる景気上昇に期待している。株価上昇、円安が後押しする。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・株高、NISA（少額投資非課税制度）の影響があり、証券業界を中心に金融業界の求人需要が高まっている。
		人材派遣会社（社員） 人材派遣会社（営業担当）	・正社員雇用の求人が堅調である。 ・現政権への期待による。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・国内自動車販売台数は、今後も微増ながらも右肩上がり で、生産における労働時間も増加する。
		職業安定所（職員）	・円安の効果で製造業からの求人が増加傾向にある。
		職業安定所（職員）	・このまま求人数が増加し、求職者数が減少すると考えられる。
		職業安定所（職員）	・雇用環境は良くなっている様子だが、事業所からは金利上昇が経営を圧迫すると懸念する向きもある。
		職業安定所（職員）	・求人倍率の伸びが、減少から若干ではあるが、横ばいかやや良くなると推測している。
		職業安定所（職員）	・為替相場の変動はあるが円安基調となれば、自動車関連部品製造業の受注増による増員が、ある程度見込まれる。ただし、サプライヤーは原材料費が高騰する一方で、製品単価を上げられないのが現状である。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・中小企業への景気改善の波は、大手企業に比べて遅れて来ると予想され、今後、景気改善に繋がるものと期待する。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・前年同期と比較して、就職フォーラムへの参加数が増加している。従来からの企業の採用数が増加する一方、新規の企業の参加もある。
変わらない		人材派遣会社（経営企画）	・期が変わっても関東での予算削減が継続している。関東が好転する兆しは見えず、現在の状況が継続する見込みである。
		人材派遣会社（経営者）	・技術者派遣の業界では、ミスマッチが非常に多い。求人に対して、求職者がマッチングしていない状況が続いており、これからも続く。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・政策次第である。
		職業安定所（職員）	・求人は増えつつあるが、求職者の数にはそれほど変化がない。
		職業安定所（職員）	・ここにきて急激な株価上昇と円安への反動で、株価が下落しているため、少し警戒している。しばらく様子を見ていく状況になる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・円安に振れて企業の利益率は上がっているが、その動きで採用数増加に踏み切るかどうかは、まだ予断を許さない。
やや悪くなる		人材派遣会社（社員）	・悪い現状において、さらに先の予約状況も悪く、今から予約が入っても例年並みには及ばない。
		人材派遣会社（支店長）	・自由化派遣の期間抵触日に伴う派遣終了が予定されており、一時的な悪化が避けられない状況となっている。
	悪くなる	-	-